

伝統文化を学びたい 中国・内蒙古から留学生が来市

9月27日から10月26日の1か月間、わだやま国際文化交流協会が2人の日本語研修短期留学生を朝来市に招きました。

訪れたのは、中国・内蒙古自治区にある呼和浩特民族学院で日本語を学ぶ烏日娜さんと狄成秋さん。28日に朝来市役所を訪問し、多次市長から「いい思い出をたくさん作って、しっかり日本語を勉強してください」と励まされると「日本の伝統文化を学びたい」と答えていました。

2人は期間中、ホームステイをしながら、市内の小中学校の

授業に参加したり観光施設などを見学したりしました。



朝来市を訪れた烏日娜さん(中央)と狄成秋さん

軽トラックで交通安全パレード

9月21日、秋の全国交通安全運動が始まり、朝来市でも様々な取り組みが行われました。

市交通安全対策協議会は、ローソン生野インター前店とジャスコ・エスタ和山店で啓発チラシなどを配布し、交通安全を呼びかけました。

また、和田山交通安全協会などは、のぼり旗を立てた軽トラックで市内をパレード。先導の白バイの後に続く十数台の軽トラックが道行く人の注目を集め、高齢者の交通事故防止やシートベルトの着用などを呼び

かけました。



軽トラックによるパレードで交通安全をPR

① 天平勝宝2年(750)
3月6日 但馬国司牒(但馬国司から東大寺にあてた文書)

2月26日、東大寺から逃亡した池麻呂と糟麻呂の2人を東大寺に送り返した。

② 天平勝宝2年(750)
5月9日 但馬国司牒

4月26日、今度は糟麻呂が東大寺から逃げ出し但馬に帰ってしまったが捕らえられ、再び東大寺に送り返された。

③ 天平勝宝2年(750)
5月13日 東大寺三綱返抄案(東大寺から但馬国司にあてた文書)

逃亡した藤麻呂、池麻呂、糟麻呂の3人が、但馬から送り返された。しかし池麻呂と糟麻呂の2人は、3月16日に再び逃亡した。

④ 天平勝宝2年(750)
6月26日 但馬国司牒

糟麻呂は3度目の逃亡を企て、但馬に逃げ帰ったが、またもや捕らえられ、東大寺に送り返された。

⑤ 天平勝宝2年(750)
7月2日 東大寺三綱牒案(東大寺から但馬国司にあてた文書)

た文書)

今度は池麻呂が逃亡。度重なる逃亡に業を煮やした東大寺は、但馬国司に対して、代わりとなる別の人を送るよう指示。

⑥ 天平勝宝3年(751)
5月21日 下総国司解(下総国司から東大寺にあてた文書)

小當女は法華寺(現奈良市)で働いていたが、4月1日、別の一人と共に下総国(千葉県)に逃亡。しかしすぐに捕らえられ、都に送り返された。

なお、桑市郷の田吉女については他の四人と違って逃亡の記録がなく、事実関係についてはわかりませんが、いずれにしても当時の東大寺大仏殿造営という華やかな表舞台とは裏腹に、過酷な労働実態のあったことがわかります。(市教育委員会社会教育課)

※奴婢：賤民(自由のない民)の位置付けの一つ。

奴隸階級に相当

※和名類聚抄：平安時代中期に作られた辞書